



# ニュースレター

2022年（令和4年）11月30日 グリーフワークかがわ広報部

## 2022年度グリーフカウンセラー養成講座基礎コース開催報告

COVID19 感染拡大が第7波を迎えたこの夏、9月に入ってもオミクロン株の影響下で感染者が減少しない中ではありましたが、本年度も9月29日、認定特定非営利活動法人グリーフワークかがわ主催 2022年度グリーフカウンセラー養成講座を開講しました。本年は、例年会場としている高松市のサンポートが改修工事を開始したことから、香川県社会福祉総合センター（高松市番町）で開催することとなりました。新型コロナウイルス感染防止については、会場施設による対策に加え、グリーフワークかがわにおいてもできる限りの対策を講じての開催となりました。消毒、マスク着用、検温、体調管理については、講師に限らず、受講生にもオリエンテーションを繰り返しました。

講師・アシスタント講師、受講生、関係理事のご協力のおかげで、11月10日に最終回、全6回シリーズを無事終わることができました。受講は10名の申し込みがあり、全員が修了しています。

本講座は、地域で相談援助等の実務を行う方を対象とし、演習を通してグリーフカウンセリングの基本を学ぶものです。今年度は医療関係者が多く見受けられたように思います。日頃の臨床経験が豊富な皆さんも基礎的な講義に加えてロールプレイやディスカッションなど濃厚な時間を過ごしていただけたように思います。

講座内でも触れましたが、誰しもが人生の中であらゆる喪失を経験し悲嘆を抱えてきた当事者です。講座を受講する中で、自身の完了していないグリーフワークと直面する方も出てきます。支援の中では、カウンセラー自身はその感情に適切に対応できていなければ、悲嘆を抱える人に適切に対応ができずに二次被害を起こす危険があります。カウンセラー自身も自分を知り、自分の喪失と能力、現状についてよく自覚しておかねばならない、と感じました。そのためにも、カウンセラーは継続して自己研鑽を重ねなければならないと感じます。

最後になりましたが、今回の講座にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

担当理事 植松美幸

## 【報告】令和4年度高松市自殺対策推進会議

2022年11月14日（月）、高松市保健センターにおいて、令和4年度高松市自殺対策推進会議が開催され当法人から理事長杉山が出席した。

まず、事務局から高松市の自殺の現状について説明があり、次に、高松市の関係課、民間団体、関係機関から自殺対策の取組みについて説明があった。そのなかで、地域での独居者の支援についての取組み、職場のメンタルヘルスに関するストレスの現状報告、世界メンタルヘルスデーの啓発の方法についての具体的な提言もあった。当法人としては、喪失体験は暮らしの中で誰もが経験することであり心の危機に陥る可能性があること、そうした当事性を互いに理解し、支え合える地域づくりのために、地道な啓発が必要であると発言した。

最後に、今後の取組みについて資料で示され、当法人からは、高松市として自殺対策を重点政策と捉え、市長と直接議論できる機会を作っていただきたいとの要望を提出した。我々NPO法人をはじめ多くの市民団体が、社会の問題を解決するためにそれぞれの専門性と先駆性を発揮し活動している。心の健康づくりもその一つであり、生活者の視点からさまざまな支援体制や技術援助を準備している。行政機関と市民団体が、互いに独自性と、同時に限界を自覚し、協働していくこと、そのためにできるだけ対面し議論できる機会を作っていくことが必要であると考えた。

（文責：杉山洋子）

## 【報告】令和4年度香川県自殺対策連絡協議会

2022年11月18日（金）、令和4年度香川県自殺対策連絡協議会がオンラインで開催され、当法人から理事長杉山が出席した。

最初に、座長から、香川県自殺対策計画の第2期策定に取り組んでいること、誰もが追い込まれることのない社会の実現を目指したいという挨拶があり議事に入った。

まず香川県の自殺の現状について事務局から説明があり、いのち支える香川県自殺対策計画の香川県における実施状況について、香川県健康福祉部、政策部、商工労働部、教育委員会、警察本部の取組が示された。次に高松市、労働局等と、民間団体から、それぞれの取組みについて説明を行った。当法人としては、自殺の問題は特定の年代や鬱対策という限定した領域ではなくライフサイクルすべてにわたり暮らしの中で心の危機に陥ることがあり、互いに支え合える地域づくりのためには普及啓発を繰り返し積み重ねることが重要であるという当法人の基本的な考え方を述べた。また、この会議は健康福祉部だけでなく部局を越えた構成がなされていることに意味があることを発言した。最後に、第2期いのち支える香川県自殺対策計画骨子について事務局から説明があった。

各領域からの報告を通して、生活者のニーズに合わせられるように、多くの相談支援の窓口が準備されていることが示された。しかしその情報が行き届いていない旨の課題も投げかけられた。出席者の一人として、私たち自身もこうした会議への出席や一つひとつの事業を積み重ね、開かれた活動を根気強く続けていかなければならないとあらためて感じた。

（文責：杉山洋子）

◆2022年11月20日 第177回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 10月末現在会計に関する事項

塚本監事から上半期の監査報告があり、指摘事項について今後訂正・修正していく事で確認された。10月の支出について理事長から報告があり、報告内容で了承された。

第2号議案 技術援助事業における講師料の基準額に関する事項

基準額を定めておくべきで、技術援助受諾規程を定める事で了承された。規程についてはタイトル及び内容について素案作りは花岡理事が担当すること、本議案審議の過程で明らかになった現行の「特定非営利活動法人グループワークかがわ報償費及び委託料に関する支払規程」の不備を見直し、改定案は杉山理事長が準備することです了承され、来月の理事会で再度諮ることです了承された。

第3号議案 2022年度グリーンカウンセラー養成講座・基礎コースに関する事項

主担当の植松理事より全6回開催し受講者10名全員に修了証を発行したことが報告され、次回理事会にて事業評価を行い、来年度に向け必要な見直しを行うことです了承された。

第4号議案 プロシユール作成に関する事項

引き続き原稿の訂正箇所を確認を行うと共に発送先の整理を行う事です了承された。

第5号議案 2022年度テーマ募金に関する事項

チラシ納入が12月上旬予定であり、12月17日に相談室へ配送手配とすること、発送準備は12月25日12時から相談室で行う旨をローマから会員へ告知する事です了承された。

第6号議案 グリーンワークかがわ認定カウンセラー資格更新制度に関する意識調査に関する事項

主担当の植松理事からアンケートの必要性が説明され、アンケートによる意識付けという点でオンラインフォームを使用するアンケートでの意識調査を行い、年度末までに集計する事です了承された。アンケート内容については12月25日の資格認定委員会で再度検討する。

第7号議案 香川県NPO基金登録団体PR原稿依頼に関する事項

現在の「寄付のお願い」「ひまわりミーティング」等のプロシユールをベースに植松理事が原案を作る事です了承された。

第8号議案 認定カウンセラー資質管理に関する事項

自身の資格更新に必要なポイントを各自で管理するために、個人のポイント管理のプログラムを法人HPに作成できるかどうかと、費用等について、AIYAシステムに問い合わせから行う事です了承された。

第9号議案 養成講座のレポートの取り扱いに関する事項

講座終了後のレポートの内容において、講座内での注意事項に該当する内容がある場合は再度改めて気を付けるように個別に注意を促すことです了承された。